

6月11日(火) 象の鼻パーク・象の鼻テラスにて 公園で仕事をする社会実験を実施!

独立行政法人都市再生機構(UR都市機構、本社:横浜市中区)は、6月11日(火)象の鼻テラス開館10周年記念展「フューチャースケープ・プロジェクト」において、UR都市機構の提案企画として「Working Park!~会社員編~」と題し、公園で仕事をする社会実験を実施するとともに、公共空間活用等をテーマとしたトークイベントを開催します。

日程: 令和元年(2019年)6月11日(火) 11:00~17:00 ※雨天時は6月12日(水)に延期

会場: 象の鼻パーク・象の鼻テラス(神奈川県横浜市中区海岸通1丁目)

トークイベント登壇者: ㈱スタジオゲンクマガイ代表 熊谷 玄 氏
横浜市都市デザイン室デザイン担当 桂 有生 氏

「フューチャースケープ・プロジェクト」とは、10周年を迎える象の鼻パーク・象の鼻テラスがさらに居心地よく快適な空間になることを目指し、1年後・10年後・100年後の未来の風景を想像して生まれたアイデアを実現するイベントです。

UR都市機構は、本社がある北仲通南地区周辺において、地域に開かれた場所づくりに取り組んでおります。その一環として、「フューチャースケープ・プロジェクト」において、公園で仕事をするにより公園に”新たな機能”が生まれることを期待し、公園にイスやテーブルを持ち込み、公園で仕事をする社会実験を実施します。



イメージ

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 広報室 報道担当 (電話) 045-650-0887

UR都市機構の提案企画「Working Park!～会社員編～」概要

■プロジェクトについて

「フューチャースケープ・プロジェクト」において、UR都市機構が、アイディアの1つとして、公園という公共空間において、イスやテーブル等を貸し出し、会社員等に“仕事をしてもらう”ことにより、公園の新たな機能を探る社会実験です。また、公共空間活用等をテーマとしたトークイベントを開催します。

<コンセプト>

「Working Park!～会社員編～」

日頃オフィスにこもって仕事をしている会社員が、必要なツールを持ち込んで公園で仕事してみたら、公園に”新たな機能”が生まれるのでは？そんな会社員ならではの公園の利用方法の提案です。同時に、会社員の新しい自由な働き方を提案します。

■公園で仕事をする社会実験

公園にイスやテーブル等を持ち込み、公園で仕事をする社会実験です。どなたでも参加可能です。

◆日程：令和元(2019)年6月11日(火) 11:00～17:00 ※雨天時は6月12日(水)に延期

◆会場：象の鼻パーク（神奈川県横浜市中区海岸通1丁目）

■公共空間活用等をテーマとしたトークイベント

「多様性のある社会における公共空間の活用について」をテーマに、ランドスケープデザイン事務所の(株)スタジオゲンクマガイ代表の熊谷玄氏及び横浜市都市デザイン室デザイン担当の桂有生氏より講演いただいた後、パネルディスカッションを行います。

◆日程：令和元(2019)年6月11日(火) 15:00～16:30 ※雨天実施

◆会場：象の鼻テラス（神奈川県横浜市中区海岸通1丁目）

◆ゲスト：(株)スタジオゲンクマガイ 代表 熊谷玄氏

1973年横浜生まれ。Studio 崔在銀(1995年～2001年)、earthscape inc.(2002年～2008年)を経て2009年3月より株式会社スタジオゲンクマガイ(STGK Inc.)代表。



横浜市都市整備局都市デザイン室デザイン担当 桂有生氏
東京芸術大学建築学科卒業後、安藤忠雄氏、山本理顕氏、2人の社会派建築家に師事。2007年より横浜市都市デザイン専門職。2010年、横浜市都市デザイン室デザイン担当。2014年、東京大学まちづくり大学院都市デザイン研究室修了。



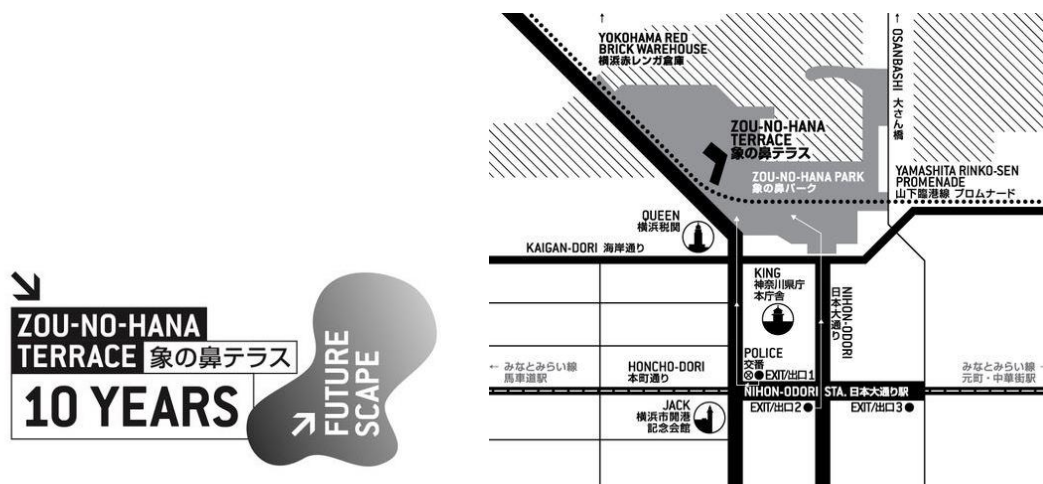
(参考) 象の鼻テラス開館 10 周年記念展「フューチャースケープ・プロジェクト」概要

■ プロジェクトについて

1859 年に横浜港が開港し、諸外国との活発な交易がスタートした「象の鼻地区」は、開港 150 周年記念事業により、2009 年に市民のための広場「象の鼻パーク」に生まれ変わりました。その中にアートを兼ね備えたレストハウス（休憩所）として建てられたのが「象の鼻テラス」です。

2019 年 6 月に象の鼻パーク・象の鼻テラスは 10 周年を迎えます。「フューチャースケープ・プロジェクト」は、この場所がさらに居心地よく快適な空間になることを目指し、アートにできることを模索する実験的なプロジェクトです。1 年後・10 年後・100 年後の未来の風景を想像して生まれた、ひとりひとりのクリエイティブなアイデアの形が象の鼻パークに現れます。

- ◆ 日程：令和元(2019)年 6 月 7 日（金）～ 6 月 16 日（日）11:00～20:00
- ◆ 会場：象の鼻パーク・象の鼻テラス（神奈川県横浜市中区海岸通 1 丁目）
- ◆ 主催：象の鼻テラス
- ◆ 共催：横浜市
- ◆ プロジェクトパートナー：小泉アトリエ、abanba、ノマドプロダクション



(参考) 北仲通南地区での取り組み “Open Kitanaka-Minami Project” について

“Open Kitanaka-Minami Project” は、UR 都市機構の本社がある北仲通南地区周辺において、このエリアをもっと知ってもらい、もっと使ってもらうことにより、このエリアの魅力や価値を向上させることを目的に、UR 都市機構の職員有志で取り組んでいるエリアマネジメント活動です。これまで、トークイベントや打ち水イベントの開催、横浜都市模型等の展示、キッチンカーの出店、等を行っています。



トークイベント



打ち水イベント

参加
無料

予約
不要

どなたでも参加OK!

公園で仕事をする社会実験 Work-ing Park! ～会社員編～

公園の“シェアオフィス”で仕事してみませんか？

海と公園のある横浜に毎日仕事に来てるのにその楽しさを享受できていない・・・
そんな会社員がたくさんいます。

日頃オフィスにこもって仕事をしている会社員が必要なツールを持ち込んで公園で仕事
を試みたら、公園に新たな“機能”が生まれ、横浜で働くことがもっと楽しくなるはず！

イメージ写真

2019年 6月11日(火) 11:00～17:00



い・て・ぶ・ル有リ



こ・て・さ・び・す有リ



電源有リ



フリーWi-Fi

トークイベント

参加無料

予約・受付不要

テーマ：多様性のある社会における
公共空間の活用について

日時：6月11日(火) 15:00～16:30

会場：象の鼻テラス



(株) スタジオ ゲンクマガイ 代表

熊谷 玄

1973年横浜生まれ。Studio 崔在銀(1995年～2001年)、earthscape inc.(2002年～2008年)を経て2009年3月より株式会社スタジオゲンクマガイ(STGK Inc.)代表



横浜市都市デザイン室 デザイン担当

桂 有生

東京芸術大学建築学卒業後、安藤忠雄氏、山本理顕氏、2人の社会派建築家に師事。2007年より横浜市都市デザイン専門職。2010年、横浜市都市デザイン室デザイン担当。2014年、東京大学まちづくり大学院都市デザイン研究室修了。

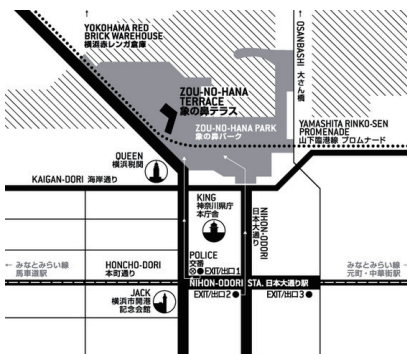
※参加者が多い場合立ち見になる可能性があります。

※雨天時はトークイベントのみ11日に実施、社会実験は12日に延期いたします。

※参加をご希望の方は象の鼻テラス横の受付にお越しください。

会場 象の鼻パーク

〒231-0002
神奈川県横浜市中区海岸通1丁目



みなとみらい線「日本大通り駅」
出口1より徒歩約3分
出口2より徒歩約5分

※駐車場の用意はございませんので、
公共交通機関をご利用ください。

●象の鼻テラス開館 10周年記念展「フューチャースケープ・プロジェクト」

象の鼻テラス開館10周年を記念して、この場所がさらに心地よく快適な空間になることを目指し、1年後・10年後・100年後の未来の風景を想像して生まれたアイデアを実現するイベントです。

日程：2019年6月7日(金)～6月16日(日) 11:00～20:00

会場：象の鼻パーク、象の鼻テラス

主催：象の鼻テラス



●「Work-ing Park! ～会社員編～」

象の鼻テラス開館10周年記念展「フューチャースケープ・プロジェクト」におけるアイデアの1つとして、UR都市機構が、公園という公共空間において、イスやテーブル等を貸し出し、会社員等に“仕事してもらおう”ことにより、公園の新たな機能を探る社会実験です。

●UR都市機構 Open Kitanaka-Minami Project

UR都市機構の本社がある北仲通南地区周辺において、このエリアをもっと知ってもらい、もっと使ってもらうことにより、このエリアの魅力や価値を向上させることを目的に、UR職員有志が取組んでいる活動です。

街に、ルネサンス



主催 UR都市機構
Open Kitanaka-Minami Project

JOY OF OUTDOOR LIVING 家具協力
NICHIESU ニチエス株式会社

蓄電池協力
ELIY Power エリーパワー株式会社